

令和6年度がんばる地域応援プロジェクト選考委員会 議事要旨

日 時：令和6年7月14日（日曜日）

発表会：午前10時～午後0時10分

選考会：午後0時15分～午後1時15分

会 場：三鷹市市民協働センター2階 第一会議室（オンライン同時配信）

出席者：選考委員4名、発表者10名（Zoom参加1名含む）、発表団体関係者9名、事務局11名（NPO法人みたか市民協働ネットワーク ネットワーク推進部会4名、NPO法人みたか市民協働ネットワーク事務局5名、コミュニティ創生課2名）、傍聴人0名

全34名

【配布資料】

- 1 令和6年度選考基準
- 2 申請団体一覧
- 3 各団体発表資料
- 4 当日のタイムスケジュール

【次第】

- 1 開会
- 2 選考委員紹介、選考委員長・副委員長挨拶
- 3 本日の進め方について
- 4 各団体による発表、選考委員からの質疑応答・講評
- 5 閉会
- 6 選考（非公開）

① 井口協和会「町会の次世代を担う若手育成プロジェクト」

(選考委員長)

- ・子ども会など、他団体と連携したことによる効果を振り返ってほしい。
- ・学校とも連携したいとのことだが、学校地域コーディネーターは、どのような役割を果たしてもらうのか、どのような働きを期待しているか。

(井口協和会)

- ・学校地域コーディネーターとは連携していない。
- ・学校の卒業生や保護者の団体と連携した。

(選考副委員長)

- ・学校や他団体と連携したことによる効果はあったか。

(井口協和会)

- ・子ども会と学校卒業生や保護者の団体等との、新たなつながりができたことだけでも、効果があったと思う。

(選考委員)

- ・顔見知りを増やすことが、防災等などでも役に立つと考えている。
- ・意見調整のキーマンとなった方や、アドバイスをもらった方はいるか。

(井口協和会)

- ・町会役員がキーマンになったと思う。
- ・井口地区では、子どもが学校に通っているときはこの団体、子どもが卒業したらこの団体、と、縦のつながりを地道に作れていると思う。そうした方々が、最終的には町会役員になってくれたらうれしい。

(選考委員)

- ・来年以降に向けて、連携団体と課題等を共有する予定はあるか。もし予定がある場合、持続可能な仕組みを作ってもらえるとありがたい。

(井口協和会)

- ・今回連携した団体が活動をするときに町会が支援するなど、お互いに支え合いながら、縦のつながりを強めて、年相応の役割をお願いできる環境を作っていきたい。

② 下連雀第一町会「お餅つき大会」

(選考委員長)

- ・会館に来てもらうだけでも、町会に親しみを持ってもらえと思う。
- ・効果測定をしてほしい。町会への加入が増えた場合、その要因は何か、などの検討してほしい。その予定はあるか。

(下連雀第一町会)

- ・今まで効果測定をしたことはないが、実施する必要があると感じている。

(選考副委員長)

- ・餅つき大会は、今までも行ってきた事業だと思うが、町会を周知する取組など、新しい要素を加える予定はあるか。

(下連雀第一町会)

- ・今年度は町会公式 LINE も作成しており、餅つき大会当日は、入会申込書を持って行く予定である。
- ・町会公式 LINE や HP でも入会案内できるようになっている。
- ・手続きの面では入会しやすくなっていると思うが、周知は足りないかもしれないので、餅つき大会のときにも周知したい。

(選考副委員長)

- ・町会に関心をもってもらえるよう、事前・事後の周知など工夫してほしい。

(選考委員)

- ・当日の様子を動画等で記録していただき、HP 等に掲載するなど、情報媒体を活用してほしい。

③ 上連雀友和会「サツマイモ収穫体験からの料理教室～収穫したての芋を使って、子どもから高齢者が簡単に楽しく美味しく食べられるレシピを学ぼう！！～」

(選考委員長)

・会員向けの事業として実施しつつ、町会加入者の増加も目指しているとのことだが、その効果測定をしっかりとしてほしい。

(上連雀友和会)

・まずは町会に入っていることのメリットを知ってもらい、そこから発信してもらうことが大事だと思っている。

(選考副委員長)

・町会に入っていることのメリットを感じさせるイベントは大事。

・顔見知りになれた、などの反応が多いイベントは、料理をテーマとしたものが多いのか。

(上連雀友和会)

・そう考えている。専門家の話を聞くだけではなく、主婦の方など、自分の持っている知識を使って交流ができると思う。

(選考副委員長)

・昔の料理法を試すもの、ジップロックを使うもの、など、プログラムごと、コンテンツごとの評価ができればよいと思う。

④ 下連雀六丁目防災の会「防災ひろばに NPO 法人 Mitaka みんなの防災がやってくる！
防災クイズで景品ゲットだぜ！」

(選考委員長)

- ・ イベント内容は良いと思う。
- ・ 町会に移行するためのステップを考えてはどうか。

(下連雀六丁目防災の会)

- ・ 毎月 1 回集まっているので、その場に地域の方にも参加してもらうなど工夫したい。

(選考委員長)

- ・ 小学校にいる、学校地域コーディネーターの方にも関わってもらいとよいと思う。

(選考副委員長)

- ・ NPO 団体と連携することで、相互にとって新しい価値が生まれそうな部分はあるか。

(下連雀六丁目防災の会)

- ・ NPO の方からお力を借りながら、子どもたちが楽しめるクイズを作りたい。

(選考副委員長)

- ・ 防災の会と連携することで、NPO 団体としても実績が増えると考えてよいか。

(下連雀六丁目防災の会)

- ・ そう考えている。

(選考副委員長)

- ・ 防災の会に参加している範囲で告知しているのか。

(下連雀六丁目防災の会)

・ 基本的には六丁目防災の会と八丁目防災の会が企画・運営などを一緒にやっているの
で、両団体の範囲に対して告知を行っている。

(選考副委員長)

・ 六丁目と八丁目が連動しているということで、その部分が引き続き継続されたら良い
と思う。

⑤ 中原四丁目自治会「鷹南わくわくフェア」

(選考委員長)

- ・若い世代に注目していることは、非常によい。
- ・学校と連携しているとのことだが、学校地域コーディネーターとはどういう関わりをしているか。
- ・申請書に「中学生による子どもの遊びコーナー」とあるが、中学生が小さい子の遊びを見守るという取り組みか。

(中原四丁目自治会)

- ・学校地域コーディネーターとの関わりは不明のため、後日周囲に確認する。コミュニティスクール委員会には、後援を受けている。
- ・中学生は、部活として地域活動をしたいという生徒たちがいたため、彼らに活動してもらうこととなった。

(選考副委員長)

- ・連携団体側が企画の中心となっており、中原四丁目自治会の存在感が弱いように感じる。
- ・自治会の課題に対してどう取り組んだのか、が最終的に見えると良いと思う。自治会に焦点を当てて進めてほしい。

(中原四丁目自治会)

- ・イベントを実施することによる喜びが、今後町会活動をしていくうえでプラスになるのではないかと考えているが、会長ともまた話していきたい。

(選考委員)

- ・イベント全体の中での自治会の立ち位置、自治会が担う実質的な役割分担、補助金の使い道の分けなど、現時点で明確に言える部分だけでいいので教えてほしい。

(中原四丁目自治会)

- ・補助金は、主に移動動物園と広報に使用している。
- ・イベントは実行委員会で運営しており、主催は中原四丁目自治会、サポートが鷹南倶楽部となっている。

⑥ 牟礼中町会「牟礼中町会ジャガイモ掘り・サツマイモ掘り体験事業」

※動画による発表であったため、コメントのみ

(選考委員長)

・今回のイベントが、町会の強化にどのようにつながったか、事後に振り返りをしてほしい。

(選考副委員長)

・情報を相互に交換する場でもあるので、(選考委員)会には可能な限り出席してほしい。

・昨年度と比較して、手法が動的なものに変わっているが、それにより狙った効果にどうつながっていったのか、教えてほしい。

⑦ 下連雀若葉会「在宅避難のすすめ」～防災グッズ、防災食 作ってみよう！試してみよう！食べてみよう！～」

(選考委員長)

・下連雀若葉会の範囲で、在宅避難をした場合のリスクにはどのようなものがあるか。

(下連雀若葉会)

・在宅避難をした際は、家具が倒れる、火災が発生する、などのリスクがある。そのため、家具の固定や火災を起こさないようにする準備などが必要。

・その前提として、まずは、避難の選択肢として避難所のほかに在宅避難もある、ということを知ってもらいたい。

(選考副委員長)

・今まで防災をテーマとして複数のイベントを実施しているが、それらの記録を少しずつ蓄積していくことにより、新しく入会した方にも紹介でき、次に進みやすくなると思う。

(下連雀若葉会)

・町会内に記録の担当がいて、今までのイベントも記録をとっている。今後も、記録を取って新規入会者にも見てもらえるようにしたい。

(選考副委員長)

・記録を掲載したサイトがあると、町会の存在感も大きくなってくると思う。

(選考委員)

・こうしたイベントを通じて、地域の防災力が上がってきた、加入者から町会への反応が変わってきた、という実感はあるか。

(下連雀若葉会)

・イベントの際に積極的に参加してくれるなど、会員の人たちは楽しんでくれている。こうした記録をとることにより、効果はより上がっていくと思うので、今後もやり続けることが大事だと思っている。

(選考委員)

・記録もとっているとのことなので、引き続き継続してほしい。

⑧ 井の頭一丁目町会「町会を超えてつながる三鷹台」

(選考委員長)

・親子の講座がメインイベントになっているが、育休中の方々にどうやって地域に対する意識を持ってもらうのか、具体的に何かあれば教えてほしい。

(井の頭一丁目町会)

・同じ地域で友達をつくる、ということを一番大事なことを考えている。

・今回のイベントでつながりを作ってもらい、子どもが大きくなってもそのつながりを続けていってもらいたいと考えている。

(選考副委員長)

・町会同士ならではの連携による効果など、イベントを実施したうえでわかったことがあれば教えてほしい。

⑨ 井之頭町会「こども力全開で“ちょうかい”とつながろう～パパ・ママ脳力発揮して応援団～」

(選考委員長)

・昨年度の効果測定をしている点が素晴らしい。これは、会員の方から意見を聞いたのか。

・今回のイベントは、会員が対象か。

(井之頭町会)

・井の頭地区公会堂に来た方や、役員ではない会員などに意見を聞いた。

・原則は会員で考えているが、場合によっては会員以外も対象にするかもしれない。

(選考副委員長)

・イベントを誰がやるか、が大事になってくると思うが、現時点でいくつか案が来ているのか。

(井之頭町会)

・これから募集する。

(選考副委員長)

・今後こうした企画立案から実施までのプロセスを参加者が主体となる仕組みで参加者が増えてくると、とてもよいと思う。

(選考委員)

・やり方に困ったときや調整がうまくいかないときは、市民協働ネットワークや三鷹市コミュニティ創生課など、相談の輪を広げてほしい。

⑩ 大沢宿町会「一日夢広場 2024」

(選考委員長)

- ・協力しているコミュニティスクールは、小学校か中学校か。

(大沢宿町会)

- ・小・中学校を含んだおおさわ学園のコミュニティスクールと協力している。
- ・地域コーディネーターも、このコミュニティスクールの中に入っている。
- ・町会側で企画し、それに対してアドバイス等を得ている。

(選考副委員長)

- ・規模が少しずつ大きくなってきているが、担い手は増えてきているか。

(大沢宿町会)

- ・増えている。協力団体も昨年度より増えている。

⑪ 牟礼南町会「町会復活プロジェクト」

(選考委員長)

- ・町会が衰退しているなかで、町会を復活させようという動きは素晴らしい。

(選考副委員長)

- ・町会を復活させようという挑戦は今まで聞いたことがないので、とても意義のあることだと思う。

- ・チラシの裏に地図を載せるなど、復活するということをさらに強調する工夫をしてもよい。

(選考委員)

- ・負担感を減らそうという発想が重要だと思う。
- ・怪しい団体ではないとわかってもらいたい、とのことだが、会計の透明性を意識したり、総会を年1回開催することなどで、信用を得られると思う。